

## ご支援くださった皆様

この度は「311 子ども甲状腺がん裁判」の原告にご支援金をいただきありがとうございます。以下、報告とお礼です。

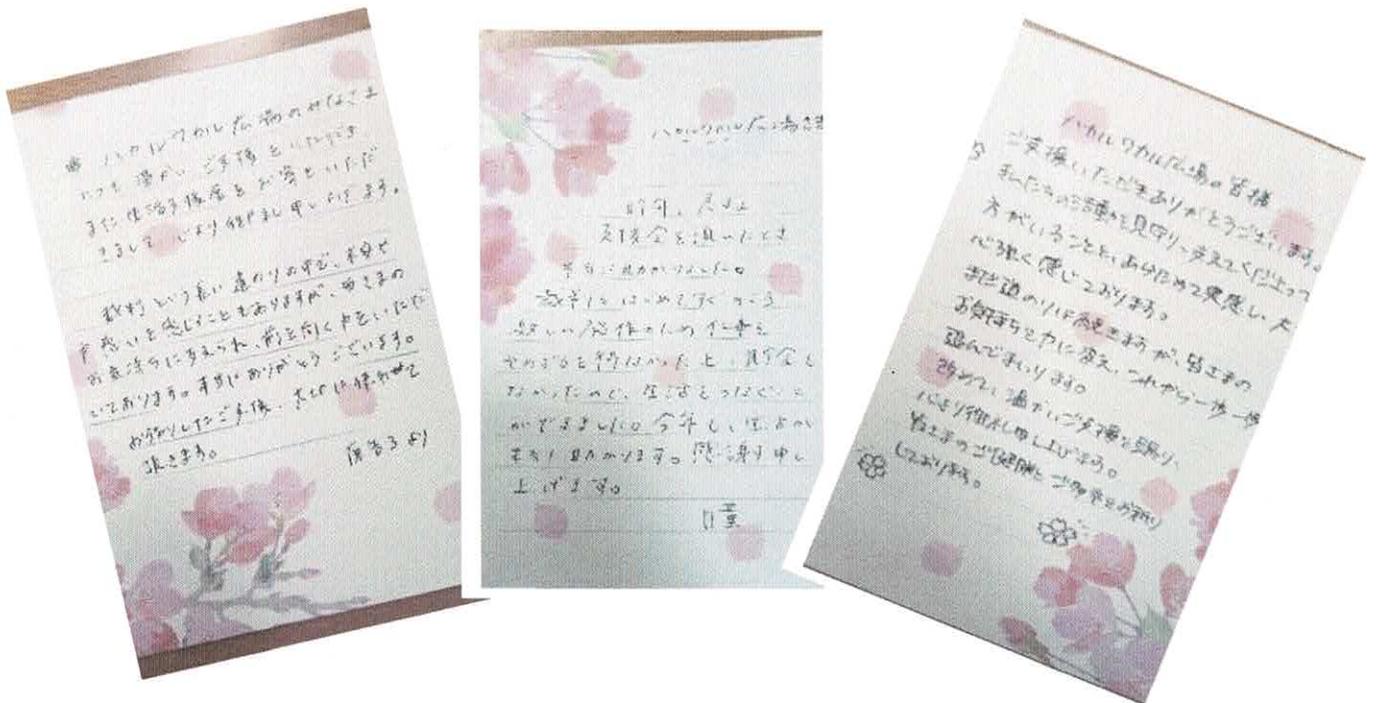
ご存知のようにこの311子ども甲状腺がん裁判をなぜかメディアは報じず、裁判の被告である東電はこのがんは福島原発事故が原因ではないと主張しています。福島では復興を妨げるとして原告はバッシングを受けております。その中で、勇気をもって裁判に立ち上がった若き原告たちにとって、皆様のご支援はまさに勇気づけるものと原告は受け止めておられました。

裁判期日のこの3月4日に7人の原告と、原告になりたかったが事情でなれずにいた甲状腺がんの方の合計8人に、お一人 10 万円ずつをお渡しできました。昨年と一昨年に続き3度目の支援です。

2025.3.7~2026.2.17.までに 57 件、851608 円のご寄付があり、それから 80万円を支援金としてお渡しいたしました。以上ご報告です。あらためてご支援に感謝いたします。

次は3月4日に支援金をお渡しした時に原告からいただいたお礼状です。皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました！

2026.3 月 ハカルワカル広場(世話人)



はがきを縮小したため字が小さくなりました。裏面をご覧ください。

表面の原告からのお礼状は写真を撮り、縮小したために読みにくくなりましたので  
下記にタイプいたしましたので、お読みいただければ幸いです。

【左端の礼状】

ハカルワカル広場のみなさま

いつも温かいご支援をいただき、また生活支援金をお寄せいただきまして、心  
より御礼申し上げます。

裁判という遠い道のりの中で、不安や戸惑いを感じたこともありますが、皆様のお  
気持ちに支えられ、前を向く力をいただいております。本当にありがとうございます。  
お受けしたご支援、大切にに使わせていただきます。(原告3より)

【中央のお礼状】

ハカルワカル広場さま

昨年、急きょ支援金を頂いたとき、本当に助かりました。裁判を始めてすぐのこ  
ろ、激しい発作のため、仕事をやめざるを得なかったうえ、貯金もなかったので、  
生活をつなぐことができました。今年も、生活が本当に助かります。感謝申し上げ  
ます。(瞳)

【右端のお礼状】

ハカルワカル広場の皆様

ご支援いただきありがとうございます。私たちの活動を見守り、支えてくださって  
いる方がいることを、改めて実感し、大変心強く感じております。まだ道のりは続  
きますが、皆様のお気持ちを力に変え、これから一步一步進んでまいります。改め  
て温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。皆様のご健勝とご多幸をお祈り  
しております。(こはく)